

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【公開番号】特開2006-142033(P2006-142033A)

【公開日】平成18年6月8日(2006.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2006-022

【出願番号】特願2005-336267(P2005-336267)

【国際特許分類】

A 47 C 7/62 (2006.01)

B 60 N 2/44 (2006.01)

【F I】

A 47 C 7/62 Z

B 60 N 2/44

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月25日(2008.9.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

シートクッションサポートパンと；

シートクッションと；

前記シートクッションサポートパンと前記シートクッションの間に位置され上位置と下位置の間を可動なレバーと；

前記レバーを前記上位置へ付勢するバネと；

前記シートクッションサポートパンと前記シートクッションの間に位置され、前記シートクッションサポートパンの下方に延在する要素を含まず、前記レバーの前記下位置へ移動することにより作動するオペレータ存在スイッチと；

を含んでなる乗物シートアセンブリであって：

オペレータがシートを占有するときに、前記レバーは前記バネの付勢に抗して前記下位置に移動して前記オペレータ存在スイッチを作動させる乗物シートアセンブリ。

【請求項2】

請求項1の乗物シートアセンブリであって、前記レバーは、前記シートクッションの長さ及び幅寸法のそれぞれ約1/3乃至1/2の範囲の長さ及び幅寸法をそれぞれ備える幅広のクッション係合面を有するパドルを備える乗物シートアセンブリ。

【請求項3】

請求項2の乗物シートアセンブリであって、前記クッション係合面はほぼU字型であり、前記シートクッションサポートパンにピボット回転可能に連結された基部を含む乗物シートアセンブリ。

【請求項4】

請求項2の乗物シートアセンブリであって、前記レバーが前記基部にピボット回転可能に連結された一端を有し、前記クッション係合面は前記オペレータ存在スイッチが位置するくぼみを含む乗物シートアセンブリ。

【請求項5】

請求項4の乗物シートアセンブリであって、前記くぼみはスイッチ孔を含み、前記オペレータ存在スイッチは前記スイッチ孔内に配設されている乗物シートアセンブリ。

**【請求項 6】**

請求項 5 の乗物シートアセンブリであって、前記くぼみは、前記オペレータ存在スイッチの配線を通す開口を有する乗物シートアセンブリ。

**【請求項 7】**

請求項 3 の乗物シートアセンブリであって、前記シートクッションサポートパンと前記レバーの間に 2 つのバネが配設され、これらのバネのいずれも前記 U 字型クッション係合面の足の下に位置する乗物シートアセンブリ。

**【請求項 8】**

請求項 1 の乗物シートアセンブリであって、前記レバーは幅広面のパドルを含み、該パドルは前記シートクッションサポートパンにピボット回転可能に連結された一端を有しあつ他端においてくぼみを有し、該くぼみに前記オペレータ存在スイッチが位置する乗物シートアセンブリ。

**【請求項 9】**

請求項 8 の乗物シートアセンブリであって、前記くぼみは、前記オペレータ存在スイッチを取り付けるための孔と、前記オペレータ存在スイッチの配線を通す開口とを含む乗物シートアセンブリ。